

即湯ユニット

取扱説明書(保証書付)

型番	型式名
138-N700型	QU-3

まずはじめに

この取扱説明書の見かた	2
各部のなまえとはたらき(システム図)	3

リモコン238-N402/N403/N404/N405/N406/ N407/N408/N409/N412/N413/N414/N415/ N416/N417/N418/N419/N422/N423/N424/ N425/N426/N427/N428/N429型 での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)	4
即湯運転する	6
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>	8

リモコン238-N304/N305/N346/N347/ N348/N349型 での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)	12
即湯運転する	14
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>	16

リモコン138-N380/N381/N382/N383/N384/ N385/N395/N396/N397/N398型 での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)	20
即湯運転する	22
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>	24

リモコン138-N430/N431/N432/N433/ N450/N451/N452/N453型での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)	28
即湯運転する	29
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>	30

リモコン138-N408/N409/N410/N411/N420/ N421/N422/N423型 での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)	32
即湯運転する	34
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>	36

リモコン138-N310/N311型 での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)	40
即湯運転する	42
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>	44

リモコン138-3054/3055/3056/3060/3061/ 3062/3063/3064/3091/3092/3093/3094/ N305/N306/N307/N308/N315/N316型 での使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)	48
即湯運転する	50
即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>	52

必要なとき

凍結による破損を予防する	56
アフターサービスについて	58
主な仕様	58
保証書	裏表紙



この取扱説明書の見かた

このたびは大阪ガスの即湯ユニットをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

*この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があれば販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。

*保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。

*この取扱説明書(保証書付)は別冊の機器本体編・リモコン操作編の取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

■ 即湯運転に関する内容のみ記載しています

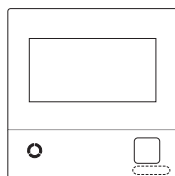
*給湯暖房機については、別冊の機器本体編またはリモコン操作編の取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。

*その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

■ お使いのリモコン型番を確認してください

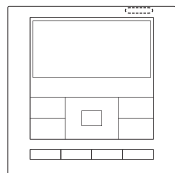
*お使いのリモコンにより操作が異なります。リモコン型番をご確認のうえ、必要なページをお読みください。

リモコン型番の記載位置(リモコンイラスト上の の位置に記載しています)

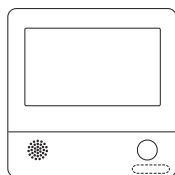


238-N402 型 238-N422 型
238-N403 型 238-N423 型
238-N404 型 238-N424 型
238-N405 型 238-N425 型
238-N406 型 238-N426 型
238-N407 型 238-N427 型
238-N408 型 238-N428 型
238-N409 型 238-N429 型

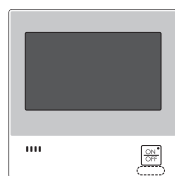
238-N412 型
238-N413 型
238-N414 型
238-N415 型
238-N416 型
238-N417 型
238-N418 型
238-N419 型



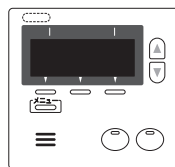
238-N304 型
238-N305 型
238-N346 型
238-N347 型
238-N348 型
238-N349 型



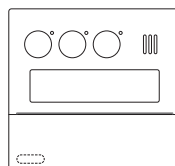
138-N430 型 138-N450 型
138-N431 型 138-N451 型
138-N432 型 138-N452 型
138-N433 型 138-N453 型



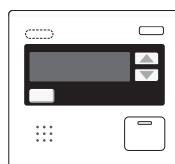
138-N408 型 138-N420 型
138-N409 型 138-N421 型
138-N410 型 138-N422 型
138-N411 型 138-N423 型



138-N310 型
138-N311 型



138-N380 型 138-N395 型
138-N381 型 138-N396 型
138-N382 型 138-N397 型
138-N383 型 138-N398 型
138-N384 型
138-N385 型

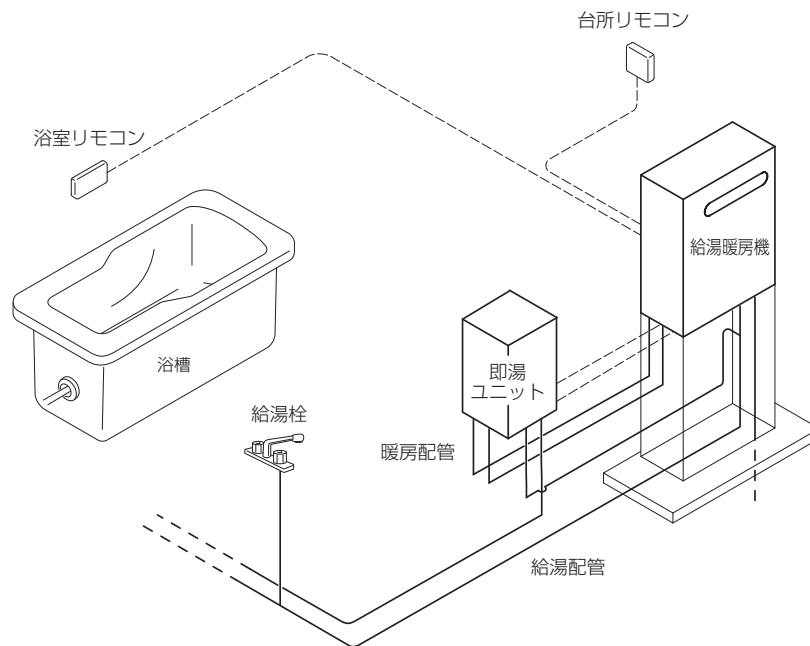


138-3054 型 138-3092 型
138-3055 型 138-3093 型
138-3056 型 138-3094 型
138-3060 型 138-N305 型
138-3061 型 138-N306 型
138-3062 型 138-N307 型
138-3063 型 138-N308 型
138-3064 型 138-N315 型
138-3091 型 138-N316 型

各部のなまえとはたらき(システム図)

即湯運転とは・・・

早くお湯が出るように、給湯配管内のお湯をあたため、保温します。



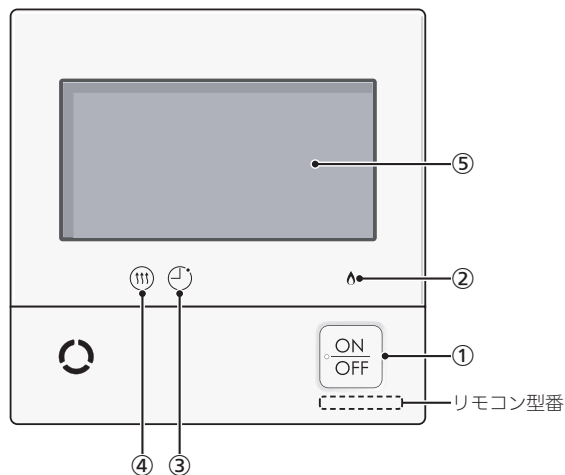
※システム図は一例であり実際と異なります。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン238-N402型で説明します。

※即湯・即湯予約に関する内容のみ説明しています。



① ON/OFFスイッチ・ランプ

運転の「入」「切」に。
「入」にするとランプ点灯。

※P56「凍結による破損を予防する」
の説明中の「運転スイッチ」は「ON/
OFFスイッチ」に読み替えてください。

② 炎マーク

即湯運転の保温時など、燃焼中に点灯。

③ 予約マーク

即湯予約中(P9)に点灯。

④ 暖房マーク

即湯運転中(P7)に点灯。

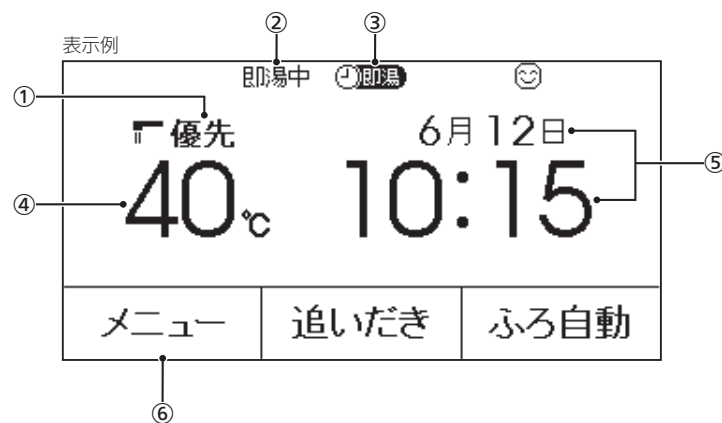
⑤ 表示画面(P5)

表示画面

下記の表示画面は即湯・即湯予約に関する内容のみ説明しています。

実際は、運転の状態・お使いの給湯暖房機・お使いの暖房放熱器・オプション機器によって異なる表示をします。

即湯・即湯予約以外の内容については、給湯暖房機の取扱説明書またはリモコン操作編の取扱説明書をご覧ください。



① 優先表示

優先が点灯していれば、給湯温度が
変更できます。(P6)

② 即湯中表示

即湯運転中(P7)に表示。

③ 即湯予約マーク

即湯予約中に点灯。(P9)

④ 給湯温度表示(P6)

タッチすると、給湯やシャワーの温
度変更画面に変わります。

⑤ 日付・時計表示

⑥ メニュースイッチ

即湯運転・即湯予約をするとき。
(P6,8)

即湯運転する (常時即湯運転をしたいとき)

<お願い>

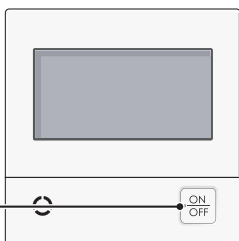
即湯運転を開始後、すぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約1時間かかります。すぐにお湯を使いたい場合は、あらかじめ即湯予約をしてください。(P8~11)

手順

台所リモコンで操作します

1 ON/OFFスイッチを押して「入」にする

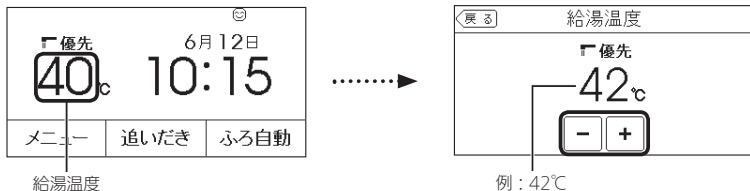
《ON/OFFランプ点灯》



2 優先表示が点灯していることを確認する



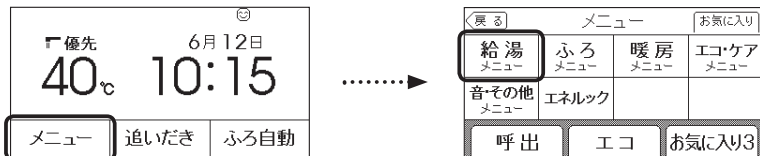
3 給湯温度を調節する場合は、給湯温度をタッチ → 【-】【+】をタッチしてお湯の温度を調節する



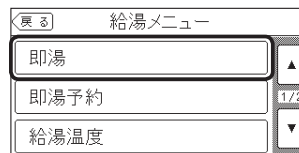
》しくみ

- 優先表示が点灯していない場合は、【-】【+】をタッチすると「ピピピ」と鳴って温度調節ができないことをお知らせします。
- 1回タッチするごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、44℃以上に上げるときは1回ずつタッチしてください。

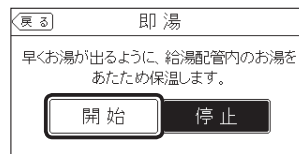
4 トップ画面で【メニュー】をタッチ → 【給湯メニュー】をタッチ



5 【即湯】をタッチする



6 【開始】をタッチする



》しくみ

- 暖房マーク[Ⓜ]点灯。

■ 即湯運転をやめたいとき

トップ画面【メニュー】→【給湯メニュー】→【即湯】→【停止】をタッチする《即湯中表示、暖房マーク[Ⓜ]消灯》

警告	<p>やけど予防のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 給湯温度を60℃などの高温の設定温度から下げた場合は、しばらく熱いお湯が出ますので、やけどに注意してください。(配管内のお湯が熱いため) ● 即湯運転中に《優先》を切り替えた場合、切り替えたほうの温度で即湯運転を続けるため、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用してください。
-----------	---

お知らせ

- 実際のお湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。(設定温度は目安です)
- お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>

あらかじめ即湯運転する時間帯を設定して予約「する」にしておくと、毎日同じ時間帯に即湯運転の開始・停止を自動的にこなします。

即湯運転を予約する

準備

- ① 給湯温度を確認する
- ② 現在時刻が正しいか確認する
- ③ P10「即湯運転する時間帯を設定する」の手順で時間帯を設定しておく

表示例



手順

台所リモコンで操作します

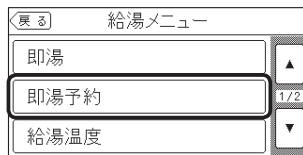
1 トップ画面で【メニュー】をタッチ → 【給湯メニュー】をタッチ



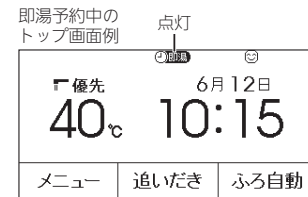
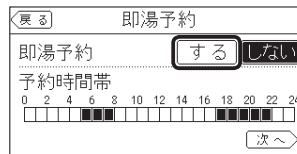
》しくみ

- ON/OFFスイッチ「入」「切」どちらでも、設定できます。

2 【即湯予約】をタッチする



3 【する】をタッチする



》しくみ

- 予約マーク 点灯。
- ★ **ヒント**
- 給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時間は、「お湯を使いたい時間の1時間前」に設定してください。

■ 即湯予約をやめたいとき

トップ画面【メニュー】→【給湯メニュー】→【即湯予約】→【しない】をタッチする 《即湯予約マーク 即湯、予約マーク 消灯》

お知らせ

- 即湯予約運転が開始してから即湯予約を「しない」にしても、自動で即湯運転は停止しません。必要に応じてP7の「即湯運転をやめたいとき」の手順で、即湯運転を停止してください。

即湯運転する時間帯を予約する<即湯 予約>(つづき)

- 予約を解除しなければ、毎日同じ時間帯に自動的に即湯運転をします。
- 複数の時間帯を設定できます。

即湯運転する時間帯を設定する

準備

「日時あわせ」をしていない場合は、日時あわせをする

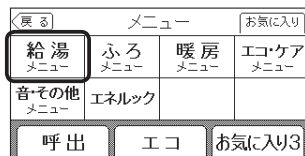
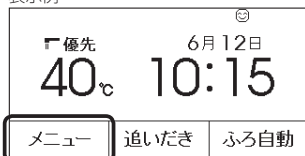
(「日時あわせ」の方法は、リモコン操作編の取扱説明書をご確認ください)

手順

台所リモコンで操作します

1 トップ画面で【メニュー】をタッチ → 【給湯メニュー】をタッチ

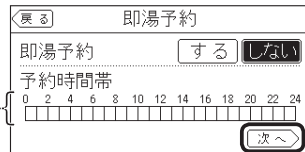
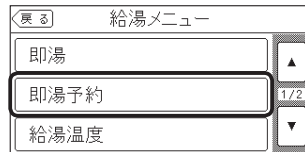
表示例



》しくみ

- ON/OFFスイッチ「入」「切」どちらでも、設定できます。

2 【即湯予約】をタッチ → 【次へ】をタッチ



前回設定した予約時間帯を表示
(例：予約時間帯なし)

》しくみ

- 即湯予約中は、予約時間帯の変更はできません。

3 【-】【+】をタッチして即湯運転する時間帯を設定する

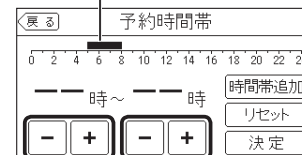
例：朝5時～8時



4 複数の時間帯を設定する場合は、【時間帯追加】をタッチ → 【-】【+】をタッチして時間帯を設定する



設定した時間帯が表示されます



★ヒント

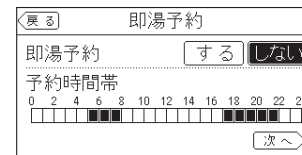
- 設定されている予約時間帯をすべて削除したい場合は、【リセット】をタッチしてください。

》しくみ

- 1時間ごとに設定できます。
- 複数の時間帯を設定できます。
- 設定した予約時間帯は記憶します。

5 時間帯を設定し終わったら【決定】をタッチする

例：朝5時～8時、夜17時～22時に即湯運転

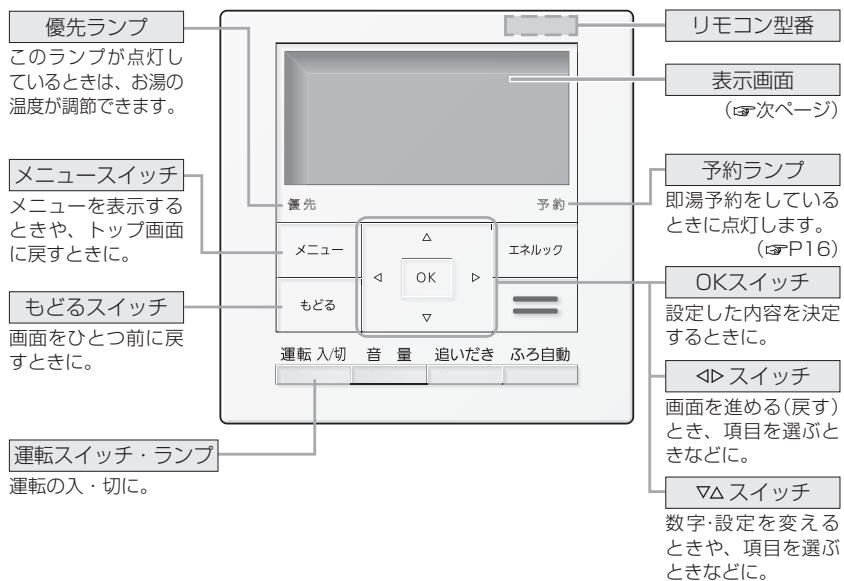


各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン238-N304型で説明します。

※即湯・即湯予約に関する内容のみ説明しています。

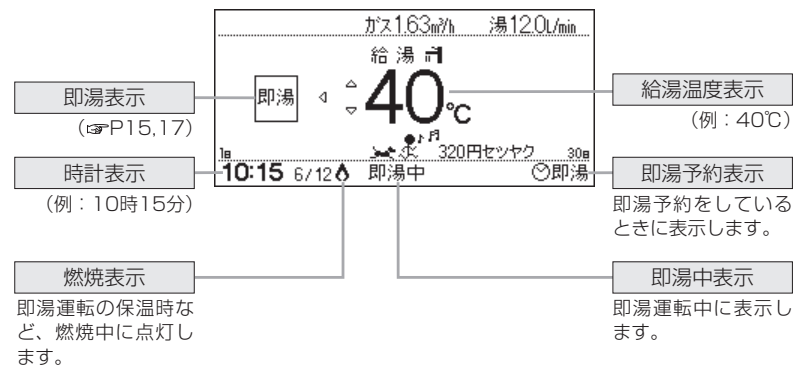


表示画面

下記の表示画面は即湯・即湯予約に関する内容のみ説明しています。

実際は、運転の状態・お使いの給湯暖房機・お使いの暖房放熱器・オプション機器によって異なる表示をします。

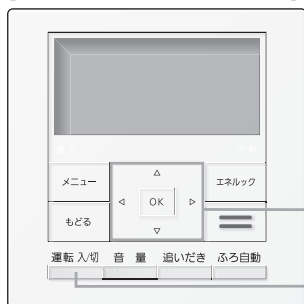
即湯・即湯予約以外の内容については、リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください。



使いかた

即湯運転する (常時即湯運転をしたいとき)

【例：台所リモコン238-N304型】



2,3,4
1

＜お願い＞

即湯を選択してもすぐにお湯は出ません。
給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約1時間かかります。
すぐにお湯を使いたい場合は、あらかじめ即湯予約をしてください。(P16～19)

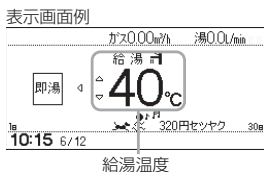
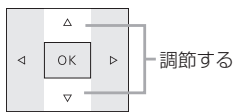
＜運転スイッチ「切」のとき＞

1 運転スイッチを押して「入」にする



※運転スイッチ「入」のときは、優先ランプ点灯を確認する。

2 給湯温度を確認する (必要に応じて△▽スイッチを押して調節する)



警告

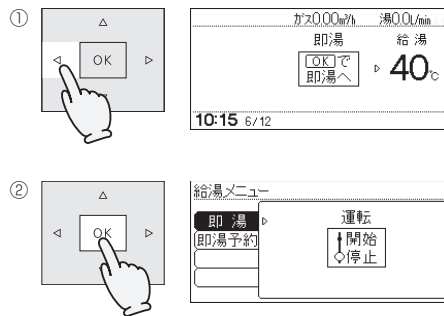


やけど予防のために

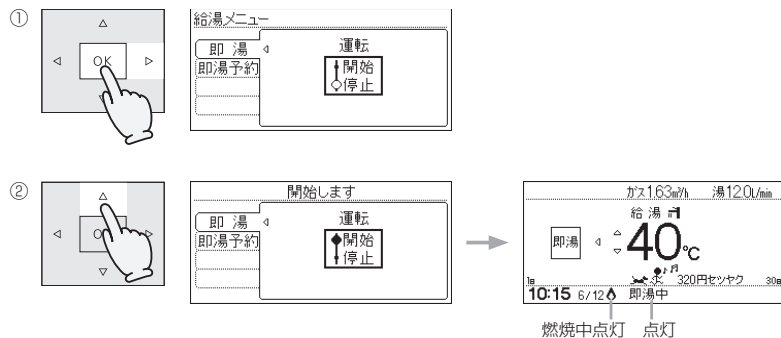
高温注意

- * 給湯温度を60℃などの高温の設定温度から下げた場合は、しばらく熱いお湯が出ますので、やけどに注意してください。(配管内のお湯が熱いため)
- * 即湯運転中に「優先」を切り替えた場合、切り替えたほうの温度で即湯運転を続けるため、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用してください。

3 ① <スイッチを押して「即湯」を中央に表示させ、② OKスイッチを押す



4 ① 「即湯」が選択されていることを確認して、OKスイッチまたは▷スイッチを押す ② △スイッチを押して運転「開始」にする



即湯運転をやめたいとき

手順3,4をおこない、▽スイッチを押して即湯運転を「停止」にする

※お湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。(設定温度は目安です)
※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する<即湯 予約>-1

【例：台所リモコン238-N304型】



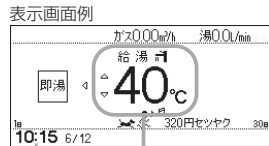
1~5

- *あらかじめ即湯運転する時間帯を設定して予約「する」しておく、毎日同じ時間帯に即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。
- *給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時間は、「お湯を使いたい時間の1時間前」に設定してください。

即湯運転を予約する

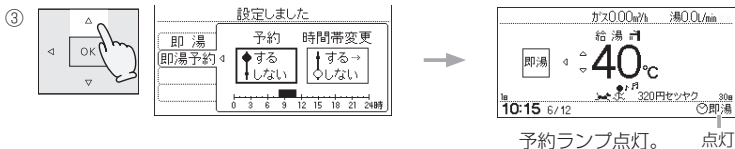
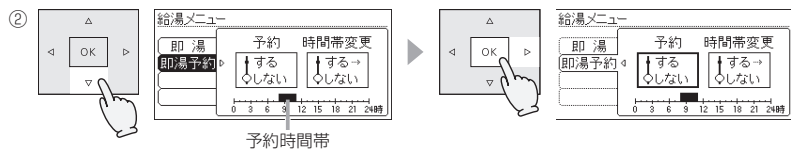
準備

1. 運転スイッチを押して「入」にする
2. 給湯温度を確認する
3. 現在時刻が正しいかどうか確認する
4. P17~18「即湯運転する時間帯を設定する」の手順で時間帯を設定しておく



表示画面例
現在時刻 給湯温度

- ① P15の手順3をおこなう
- ② ▽スイッチを押して「即湯予約」を選択し、OKスイッチまたは▷スイッチを押す
- ③ △スイッチを押して予約「する」にする



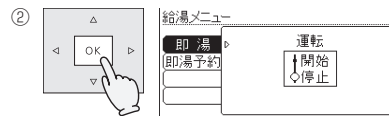
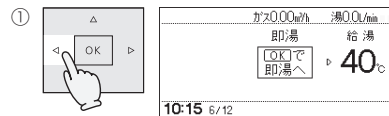
・予約解除をしなければ、毎日同じ時間帯に自動的に即湯運転をします。

即湯運転する時間帯を設定する

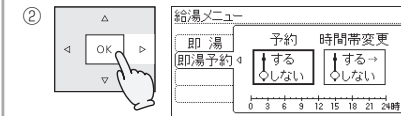
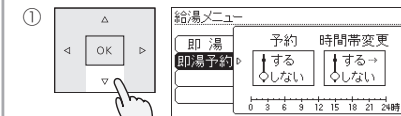
準備

「日時あわせ」をしていない場合は、日時あわせをする。
(「日時あわせ」の方法は、リモコン操作編の取扱説明書をご確認ください)

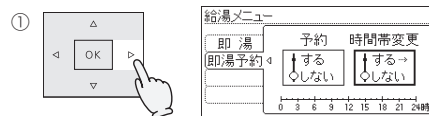
- ① ◀スイッチを押して「即湯」を中央に表示させ、OKスイッチを押す



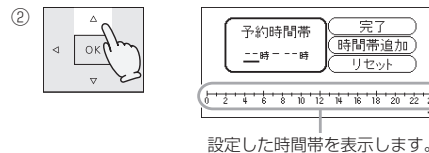
- ② OKスイッチまたは▷スイッチを押す



- ③ ①▷スイッチを押して「時間帯変更」を選択し、△スイッチを押して「する」を選択する



・即湯予約中は時間帯変更はできません。



・複数の時間帯を設定できます。

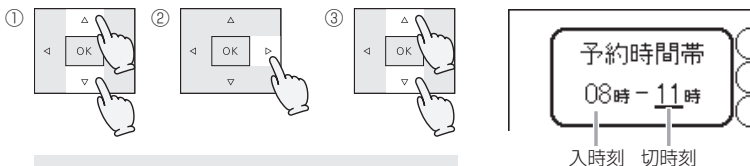
設定した時間帯を表示します。

(次ページへ)

即湯運転する時間帯を予約する<即湯 予約>-2

(前ページより)

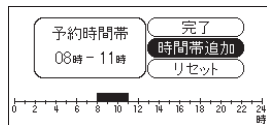
- 4**
- ① ▲▼スイッチを押して「予約時間帯」の入時刻を設定し、
 - ② ▷スイッチを押して右へ移動させ
 - ③ ▲▼スイッチを押して切時刻を設定する



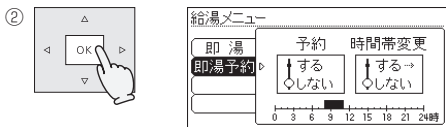
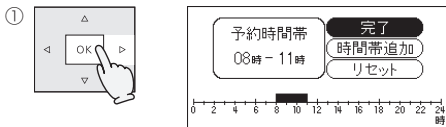
・入時刻は、お湯を使いたい時間の1時間前に設定してください。

複数の時間帯を追加したいとき

▷スイッチとマスイッチを押して「時間帯追加」を選択し、OKスイッチを押す。その後、続けて追加したい時間帯を設定する。



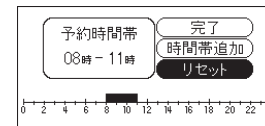
- 5**
- ① ▷スイッチまたはOKスイッチを押して「完了」を選択し、
 - ② OKスイッチを押す



・約30秒そのままにするか、メニュースイッチを2回押すとトップ画面に戻ります。

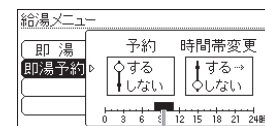
設定をすべてやり直したいとき

- ① P17の手順1～手順3をおこなう。
- ② ▷スイッチとマスイッチを押して「リセット」を選択し、OKスイッチを押す。
- ③ P18の手順4で時間帯を設定し直す。



予約時間帯の確認

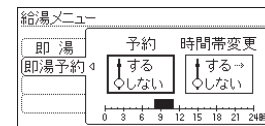
- ① P17の手順1をおこなう。
- ② マスイッチを押して「即湯予約」を選択する。



予約時間帯を表示します。

即湯予約を解除したいとき

- ① P17の手順1,2をおこなう。
- ② マスイッチを押して予約「しない」にする。



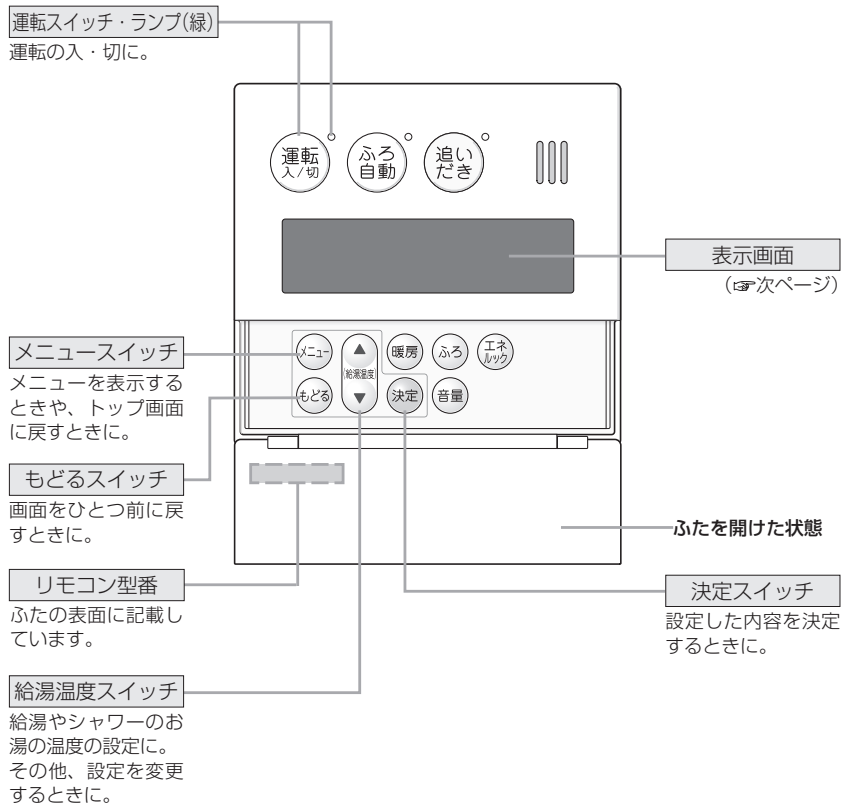
※即湯予約運転が開始してから即湯予約を予約「しない」にしても、自動で即湯運転は停止しません。
必要に応じてP15の「即湯運転をやめたいとき」の手順で、即湯運転を停止してください。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン138-N380型でご説明します。

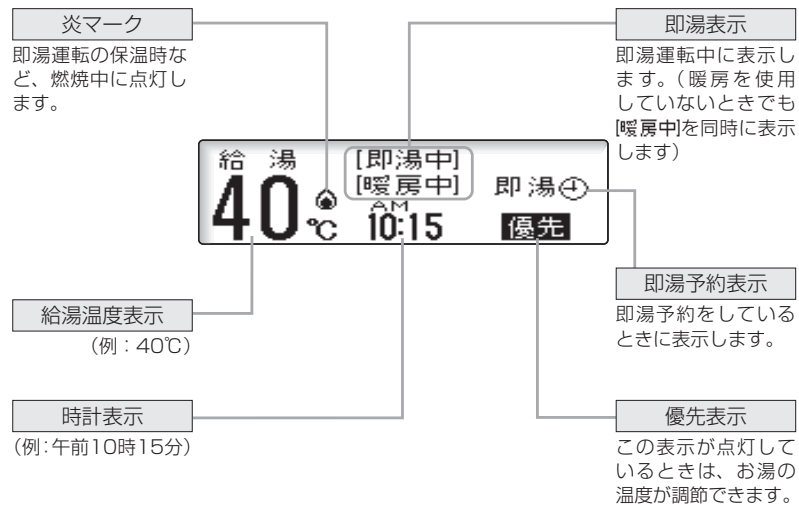
ここでは即湯・即湯予約に関するスイッチのみ説明しています。



表示画面

下記の表示画面は説明用です。

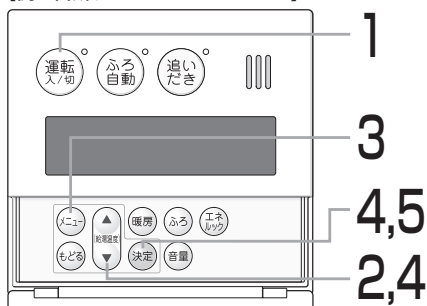
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



使いかた

即湯運転する(常時即湯運転をしたいとき)

【例：台所リモコン138-N380型】



＜お願い＞
即湯を選択してもすぐにお湯は出ません。
給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約1時間かかります。
すぐにお湯を使いたい場合は、あらかじめ即湯予約をしてください。(P24～27)

＜運転スイッチ「切」のとき＞

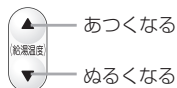
1 運転スイッチを押して「入」にする



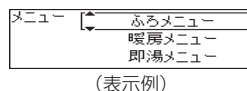
※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。
優先表示が点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。(このとき、運転が停止しますのでご注意ください)

＜一度設定すると記憶します＞

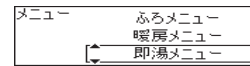
2 給湯温度を確認する (必要に応じて、給湯温度スイッチを押して調節する)



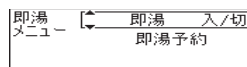
3 ふたの中のメニュースイッチを押してメニュー画面を表示させる



4 給湯温度スイッチを押して「即湯メニュー」を選択し、決定スイッチを押す



5 「即湯 入/切」が選択されていることを確認し、決定スイッチを押す



即湯運転開始

即湯運転を開始します

即湯メニューの「即湯」と「運転中」が交互に表示(約10秒間)



即湯運転をやめたいとき

手順3～5をおこなう

停止します

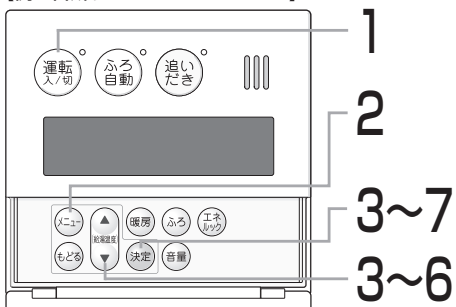
・即湯メニューに戻り、約10秒後
トップ画面に戻ります。

※お湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。(設定温度は目安です)
※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

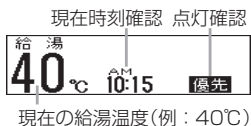
即湯運転する時間帯を予約する<即湯 予約>-1

【例：台所リモコン138-N380型】



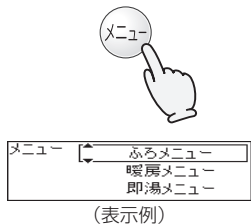
<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを押して「入」にする



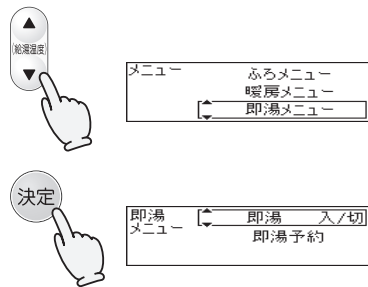
※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。
優先表示が点灯していないときは、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。(このとき、運転が停止しますのでご注意ください)

2 ふたの中のメニュースイッチを押してメニュー画面を表示させる



(表示例)

3 給湯温度スイッチを押して「即湯メニュー」を選択し、決定スイッチを押す

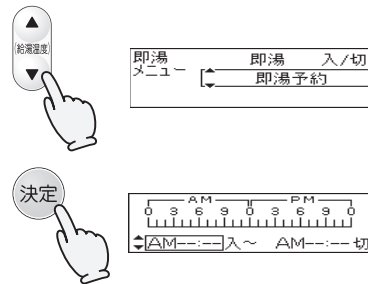


あらかじめ即湯運転する時間帯を設定しておく、即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。
(時間帯は複数設定できます)

朝6時～朝8時の間、お湯を使いたい場合で説明します
(朝5時～朝8時に即湯運転)

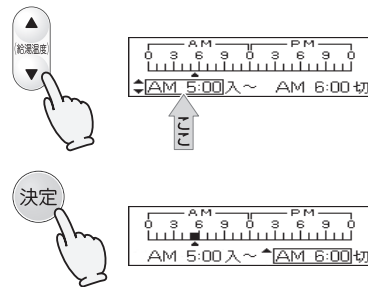
※即湯運転を開始しても、給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時刻は、「お湯を使いたい時刻の1時間前」に設定してください。

4 給湯温度スイッチを押して「即湯予約」を選択し、決定スイッチを押す



※前回の設定を表示します。

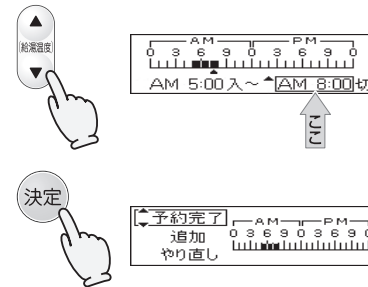
5 給湯温度スイッチを押して「AM5:00」に設定し、決定スイッチを押す【「入」時刻設定完了】



※一度押すごとに1時間ずつ変わります。

- 【前回の設定のまま予約する場合】
「入」時刻設定せずに決定スイッチを押し、手順7の操作をする
- 【前回の設定に時間帯を追加する場合】
「入」時刻設定せずに決定スイッチを押し、P26「続けて他の時間帯を追加したいとき」の操作をする
- 【前回の設定を取り消す場合】
「入」時刻設定せずに決定スイッチを押し、P26「設定をすべてやり直したいとき」の操作をする

6 給湯温度スイッチを押して「AM8:00」に設定し、決定スイッチを押す【「切」時刻設定完了】



(次ページへ)

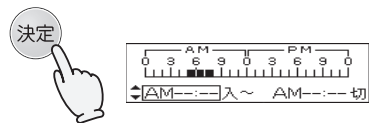
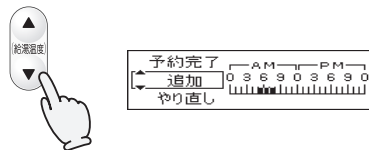
即湯運転する時間帯を予約する<即湯 予約>-2

(前ページより)

<必要に応じて設定します>

続けて他の時間帯を追加したいとき

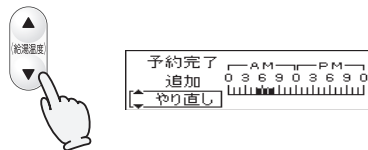
- ①給湯温度スイッチを押して「追加」を選択し、決定スイッチを押す



- ②手順5～6の操作で設定する

設定をすべてやり直したいとき

- ①給湯温度スイッチを押して「やり直し」を選択し、決定スイッチを押す



- ②手順5～6の操作で設定する

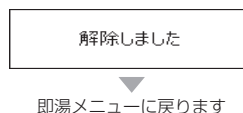
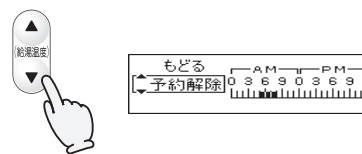
予約時刻の確認

- ①手順1～4をおこない、確認する
- ②「もどる」が選択されていることを確認し、決定スイッチを押す



即湯予約をやめたいとき

- ①手順1～4をおこなう
- ②給湯温度スイッチを押して「予約解除」を選択し、決定スイッチを押す



- ・約10秒後トップ画面に戻ります。
- ・即湯「入」時刻になってから即湯予約を解除すると、自動で即湯運転を停止しません。必要に応じてP23の手順で即湯運転を停止してください。

予約時刻の変更

上記「即湯予約をやめたいとき」の手順により解除してから、もう一度設定しなおしてください。

7 決定スイッチを押す



設定しました

即湯メニューの「即湯予約」と「予約中」が交互に表示(約10秒間)

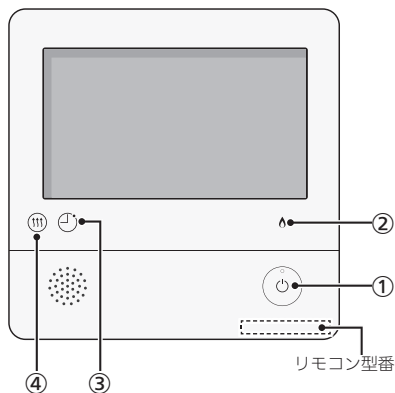


- ・決定スイッチを押さなければ予約はされません。
- ・時計あわせをしていない場合は、時計あわせの画面表示になります。
- ・予約解除をしなければ、毎日同じ時間に自動的に即湯運転をします。

使いかた 各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

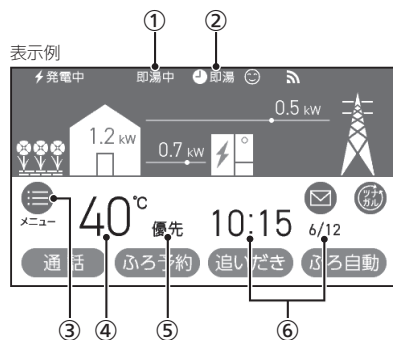
台所リモコン138-N430型で説明します。
※ 即湯・即湯予約に関する内容のみ説明して
います。
※ 2020年4月より対応。



- ① ON/OFFスイッチ・ランプ
運転の「入」「切」に。
「入」にするとランプ点灯。
※P56「凍結による破損を予防する」の説明中
の「運転スイッチ」は「ON/OFFスイッチ」に
読み替えてください。
- ② 炎マーク
即湯運転の保温時など、燃焼中に点灯。
- ③ 予約マーク
即湯予約中(P31)に点灯。
- ④ 暖房マーク
即湯運転中(P29)に点灯。

表示画面

下記の表示画面は即湯・即湯予約に関する内
容のみ説明しています。
実際は、運転の状態・お使いの給湯暖房機・
お使いの暖房放熱器・オプション機器によっ
て異なる表示をします。
即湯・即湯予約以外の内容については、リモ
コン操作編の取扱説明書をご覧ください。



- ① 即湯中表示
即湯運転中(P30)に表示。
- ② 即湯予約マーク
即湯予約中に点灯。(P31)
- ③ メニュースイッチ
即湯運転・即湯予約をするとき。(P29,30)
- ④ 給湯温度表示
タッチすると、給湯やシャワーの温度変更画
面に変わります。(P29)
- ⑤ 優先表示
優先が点灯していれば、給湯温度が変更でき
ます。(P29)
- ⑥ 日付・時計表示

使いかた 即湯運転する(常時即湯運転をしたいとき)

- 即湯運転を開始後、すぐにお湯は出ません。給湯
配管内のお湯が充分にあたまるまで約1時間か
かります。すぐにお湯を使いたい場合は、あらか
じめ即湯予約をしてください。(P30~31)

警告

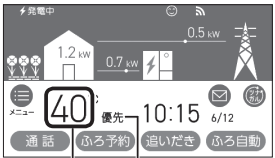
やけど予防のために

- 給湯温度を60℃などの高温の設定温度
から下げた場合は、しばらく熱いお湯が
出ますので、やけどに注意してください。
(配管内のお湯が熱いため)
- 即湯運転中に《優先》を切り替えた場合、
切り替えたほうの温度で即湯運転を続け
るため、リモコンに表示の温度をよく確
かめ、手で湯温を確認してから使用して
ください。



手順(台所リモコンで操作します)

1. ON/OFFスイッチ(①)を押して「入」にする
《ON/OFFランプ点灯》
2. 優先表示が点灯していることを確認し、給
湯温度を調節する場合は給湯温度をタッチ
する

(表示例)

給湯温度 点灯
3. 【-】【+】をタッチして給湯温度を調節する

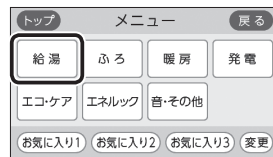


- 1回タッチするごとに1段階ずつ、長押し
すると連続で表示が変わります。ただし、
44℃以上に上げるときは、1回ずつタッチ
してください。
- 優先表示が点灯していない場合は、【-】
【+】をタッチすると「ピピピ」と鳴って温度
調節ができないことをお知らせします。

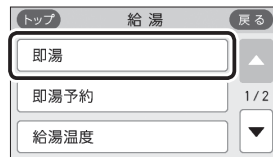
4. 【メニュー】をタッチする



5. 【給湯】をタッチする

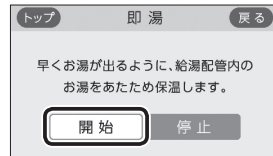


6. 【即湯】をタッチする



7. 【開始】をタッチする

《暖房マーク(②)点灯》



使いかた

(つづく)

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する

(つづき)

(即湯中の表示例)



即湯運転をやめたいとき

【メニュー】→【給湯】→【即湯】→「即湯」の【停止】をタッチして停止する

《即湯中表示 消灯、暖房マーク(☀) 消灯》

- あらかじめ即湯運転する時間帯を設定して予約「する」にしておく、毎日同じ時間帯に即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。
- ON/OFFスイッチ「入」「切」どちらでも設定できます。

手順 (台所リモコンで操作します)

1. 給湯温度を確認する
2. リモコンの現在時刻があっていることを確認する
3. 【メニュー】→【給湯】→【即湯予約】をタッチする



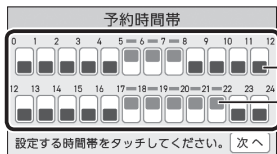
4. <予約時間帯を設定(変更)する場合>
1) 「予約時間帯」の【▶】をタッチする



- 2) 設定(変更)したい予約時間帯をタッチして設定し、【次へ】をタッチする

(朝5時～8時、夜17時～22時に即湯運転する例)

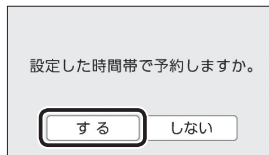
即湯切時間帯(グレー)



即湯入時間帯(オレンジ)

- 1時間単位で設定できます。
- 複数の予約時間帯を設定できます。
- 設定した予約時間帯は記憶します。
- 給湯配管内のお湯が十分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時間は、「お湯を使いたい時間の1時間前」に設定してください。
- 即湯予約中は、予約時間帯の変更はできません。

- 3) 【する】をタッチする



- 【する】をタッチすると、予約マーク(☺)が点灯し、トップ画面に即湯予約マーク(☺)が点灯します。
- 予約時間帯になってから即湯予約を解除すると、手動で即湯運転を停止するまで即湯運転を続けます。

<予約時間帯を変更しない場合>
【する】をタッチする



- 【する】をタッチすると、予約マーク(☺)が点灯し、トップ画面に即湯予約マーク(☺)が点灯します。
- 予約時間帯になってから即湯予約を解除すると、手動で即湯運転を停止するまで即湯運転を続けます。

予約をやめたいとき

【メニュー】→【給湯】→【即湯予約】→「予約」の【しない】をタッチして予約を解除する

《予約マーク(☺)、即湯予約マーク(☺) 即湯 消灯》

使いかた

お知らせ

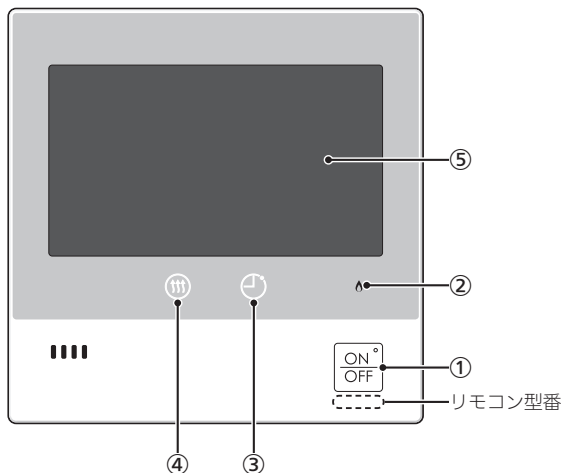
- 実際のお湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。(設定温度は目安です)
- お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン138-N410型で説明します。

※即湯・即湯予約に関する内容のみ説明しています。



- ① ON/OFFスイッチ・ランプ
運転の「入」「切」に。
「入」にするとランプ点灯。
※P56「凍結による破損を予防する」
の説明中の「運転スイッチ」は「ON/
OFFスイッチ」に読み替えてくださ
い。

- ② 炎マーク
即湯運転の保温時など、燃焼中に点灯。
- ③ 予約マーク
即湯予約中(P37)に点灯。
- ④ 暖房マーク
即湯運転中(P35)に点灯。

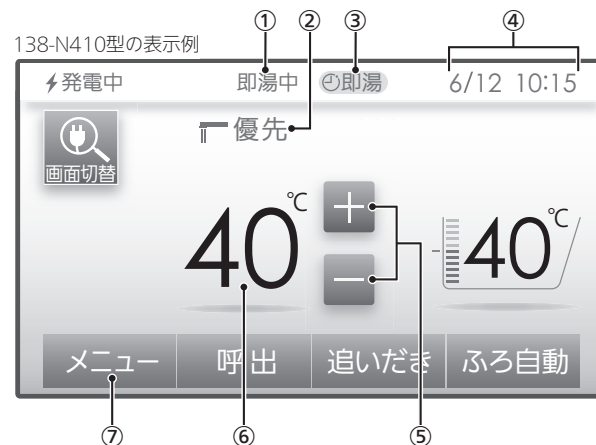
- ⑤ 表示画面(P33)

表示画面

下記の表示画面は即湯・即湯予約に関する内容のみ説明しています。

実際は、運転の状態・お使いの給湯暖房機・お使いの暖房放熱器・オプション機
器によって異なる表示をします。

即湯・即湯予約以外の内容については、リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください。



- ① 即湯中表示
即湯運転中(P35)に表示。
- ② 優先表示
優先が点灯していれば、給湯温度が
変更できます。(P34)
- ③ 即湯予約マーク
即湯予約中に点灯。(P37)

- ④ 日付・時計表示

- ⑤ 給湯温度設定スイッチ
温度の設定に。(P34)
- ⑥ 給湯温度表示(P34)
- ⑦ メニュースイッチ
即湯運転・即湯予約をするとき。
(P34,36)

使いかた

即湯運転する (常時即湯運転をしたいとき)

<お願い>

即湯運転を開始後、すぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約1時間かかります。すぐにお湯を使いたい場合は、あらかじめ即湯予約をしてください。(P36~39)

手順 操作できるリモコン 台所

- ① ON/OFFスイッチを押して「入」にし、給湯温度を確認する
- ② 必要に応じて、給湯トップ画面で【+】【-】をタッチして調節する

138-N410型の給湯トップ画面の表示例



給湯温度

- ① 給湯トップ画面で【メニュー】をタッチし



- ② 【給湯メニュー】をタッチする



- ③ 【即湯】をタッチする

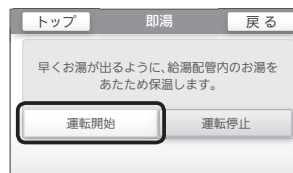


》**しくみ**
 ●ON/OFFランプ点灯。
 ●優先表示点灯。

》**しくみ**
 ●エネルギートップ画面の場合は、【画面切替】をタッチして給湯トップ画面にしてください。

》**しくみ**
 ●エネルギートップ画面の場合は、【画面切替】をタッチして給湯トップ画面にしてください。

4 【運転開始】をタッチする



》**しくみ**
 ●暖房マーク点灯。

■ 即湯運転をやめたいとき

給湯トップ画面【メニュー】→【給湯メニュー】→
 →【即湯】→【運転停止】をタッチする

》**しくみ**
 ●即湯中表示消灯。
 ●暖房マーク消灯。

警告	<p>やけど予防のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ●給湯温度を60℃などの高温の設定温度から下げた場合は、しばらく熱いお湯が出ますので、やけどに注意してください。(配管内のお湯が熱いため) ●即湯運転中に《優先》を切り替えた場合、切り替えたほうの温度で即湯運転を続けるため、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用してください。
-----------	---

お知らせ

- 実際のお湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。(設定温度は目安です)
- お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>

あらかじめ即湯運転する時間帯を設定して予約「する」にしておくと、毎日同じ時間帯に即湯運転の開始・停止を自動的にこなします。

即湯運転を予約する

準備

- ① 給湯温度を確認する
- ② 現在時刻が正しいか確認する
- ③ P38「即湯運転する時間帯を設定する」の手順で時間帯を設定しておく



手順 操作できるリモコン 台所

1 ① 給湯トップ画面で【メニュー】をタッチし



② 【給湯メニュー】をタッチする



》**しくみ**
 ●エネルギートップ画面の場合は、【画面切替】をタッチして給湯トップ画面にしてください。

2 【即湯予約】をタッチする



3 【する】をタッチする



》**しくみ**
 ●予約マーク点灯。
 ★**ヒント**
 ●給湯配管内のお湯が十分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時間は、「お湯を使いたい時間の1時間前」に設定してください。

■ 即湯予約をやめたいとき

給湯トップ画面【メニュー】→【給湯メニュー】→
 →【即湯予約】→【しない】をタッチする

》**しくみ**
 ●即湯予約マーク、予約マーク消灯。

お知らせ

●即湯予約運転が開始してから即湯予約を「しない」にしても、自動で即湯運転は停止しません。必要に応じてP35の「即湯運転をやめたいとき」の手順で、即湯運転を停止してください。

即湯運転する時間帯を予約する<即湯 予約>(つづき)

予約を解除しなければ、毎日同じ時間帯に自動的に即湯運転をします。

即湯運転する時間帯を設定する

準備

「日時あわせ」をしていない場合は、日時あわせをする
(「日時あわせ」の方法は、リモコン操作編の取扱説明書をご確認ください)

手順 操作できるリモコン **台所**

1 ①給湯トップ画面で
【メニュー】をタッチし

表示例



②【給湯メニュー】を
タッチする



2 ①【即湯予約】をタッチし



②【▶】をタッチする



》しくみ

●ON/OFFスイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。

★ヒント

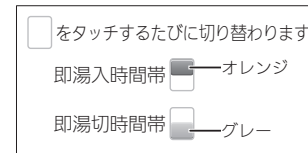
●画面が黒くなっている場合は、画面をタッチし、必要に応じて【画面切替】をタッチして給湯トップ画面にしてください。

》しくみ

●即湯予約中は、予約時間帯の変更はできません。

3 即湯運転する時間帯を設定する

朝5時～8時、夜17時～22時に即湯運転する例



》しくみ

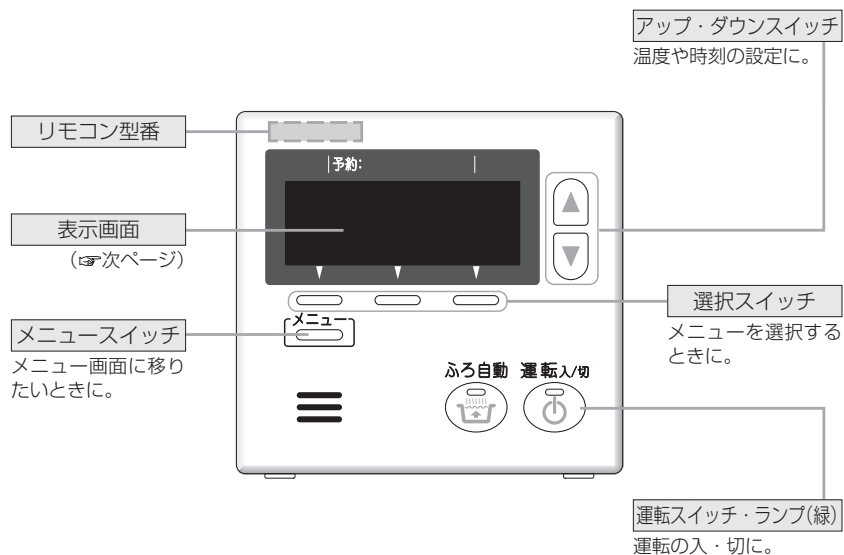
- 1時間ごとに設定できます。
- 複数の時間帯を設定できます。
- 設定した予約時間帯は記憶しません。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン138-N310型で説明します。

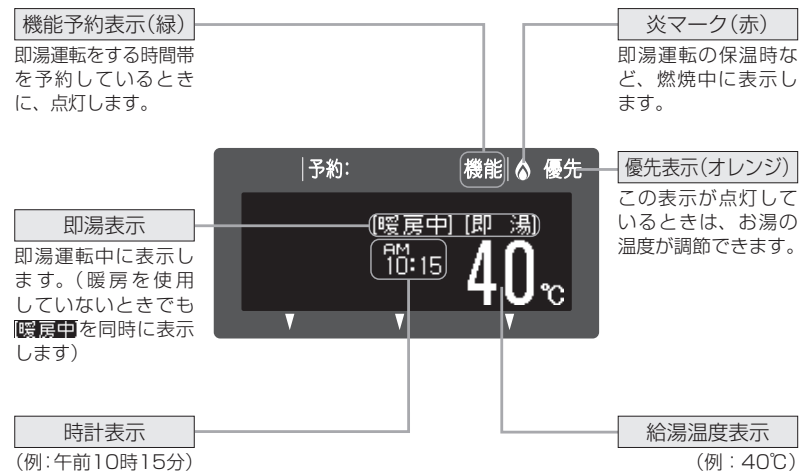
ここでは、即湯・即湯予約に関するスイッチのみ説明しています。



表示画面

下記の表示画面は説明用です。

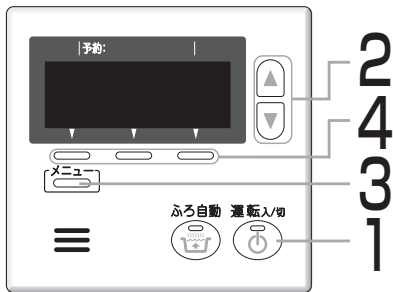
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



使いかた

即湯運転する (常時即湯運転をしたいとき)

【例：台所リモコン138-N310型】

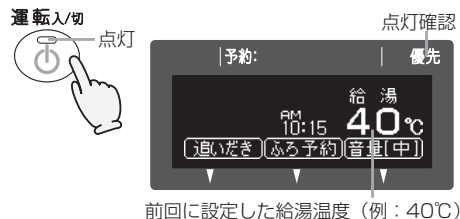


<お願い>

即湯を選択してもすぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたまるまで約1時間かかります。すぐにお湯を使いたい場合は、即湯する時間帯を予約してください。(P44~47)

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを押して「入」にする

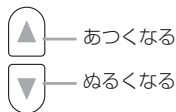


前回到に設定した給湯温度 (例：40°C)

※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。優先表示が点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。(このとき、運転が停止しますのでご注意ください)

<一度設定すると記憶します>

2 必要に応じて温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



変更した給湯温度

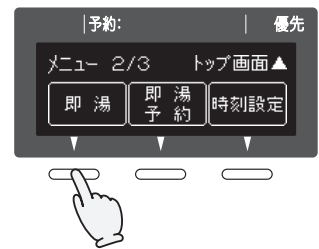
3 メニュースイッチを何回か押して、メニュー画面に「即湯」を表示させる



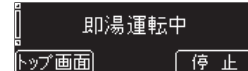
※トップ画面で「即湯」を表示させることもできます (リモコンセット(ドットマトリクス)の取扱説明書)



4 選択スイッチを押して「即湯」を選択する



即湯運転を開始します

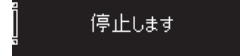
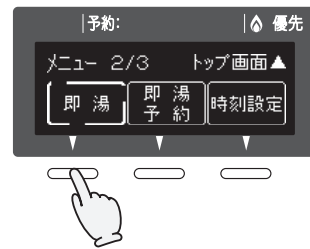


燃焼中は \triangle が点灯します。

即湯運転をやめたいとき

3~4の手順で「即湯」を選択する(即湯運転中は「即湯」の枠が動きます)

即湯運転を停止します



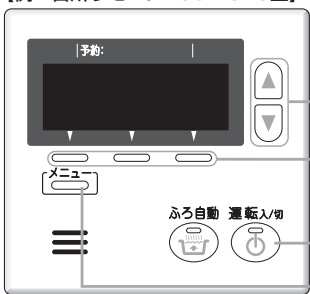
※お湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。(設定温度は目安です)

※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

使いかた

即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>-1

【例：台所リモコン138-N310型】



4,6,8
3,5,
7,9
1
2

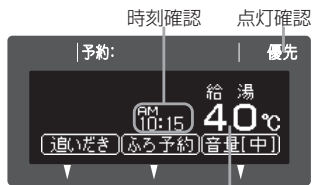
あらかじめ即湯運転する時間帯を設定しておく、即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。
(時間帯は複数設定できます)

即湯運転を、朝6時～朝8時の間と夜6時～夜10時の間にお湯を使いたい場合で説明します

※即湯運転を開始しても、給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまでに約1時間かかるため、開始時刻は、「お湯を使いたい時刻の1時間前」に設定してください。

<運転スイッチ「切」のとき>

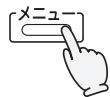
1 運転スイッチを押して「入」にする



前回到設定した給湯温度(例：40℃)

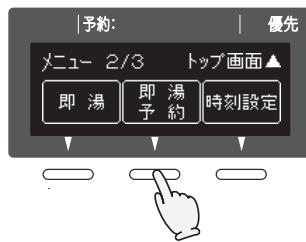
※運転スイッチ「入」のときは、優先表示が点灯していることを確認してください。
優先表示が点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。(このとき、運転が停止しますのでご注意ください)

2 メニュースイッチを何回か押して、メニュー画面に「即湯予約」を表示させる



<メニュー画面(例)>

3 選択スイッチを押して「即湯予約」を選択する



※前回予約設定している場合、前回設定した時間帯でなければ「予約完了」を選択してください。
<即湯予約完了> (P46手順 9 参照)

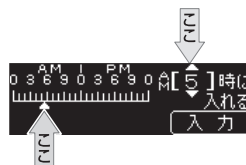


前回到設定した時間帯(例)

4 前回予約設定していない場合 アップ・ダウンスイッチを押して AM[5] まで▲を移動させる



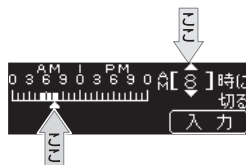
一度押すごとに1時間ずつ移動します。



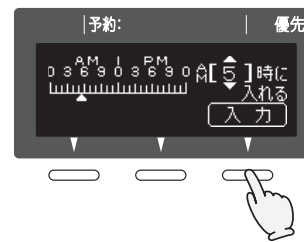
6 アップ・ダウンスイッチを押して AM[8] まで▲を移動させる



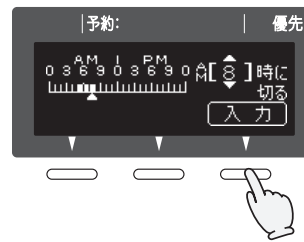
一度押すごとに1時間ずつ移動します。



5 選択スイッチを押して「入力」を選択する <開始時刻設定完了>



7 選択スイッチを押して「入力」を選択する <終了時刻設定完了>

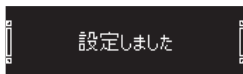
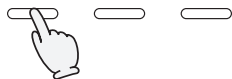


即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>-2

8 3~6の手順で
PM[5]~[10]まで設定する



9 選択スイッチを押して
[予約完了]を選択する<即湯予約完了>



- ・機能点灯。
- ・元の画面に戻ります。
- ・[予約完了]を選択しなければ予約はされません。
- ・予約解除をしなければ、毎日同じ時間帯に自動的に即湯運転をします。

即湯運転開始

開始時刻になると自動的に即湯運転を開始します。
(運転スイッチが「切」の場合でも、自動的に「入」になります)



即湯運転終了

終了時刻になると自動的に即湯運転を終了します。



- ・運転スイッチは自動的に「切」になりません。

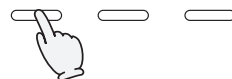
予約時刻の確認

2~3の手順で [即湯予約] を選択し、確認後 [戻る] を選択する。



即湯予約を解除したいとき

2~3の手順で [即湯予約] を選択し、[予約解除] を選択する。



即湯予約を解除します



- ・機能消灯。
- ・[戻る] を選択するとメニュー画面に戻ります。
- ・予約を解除しても、設定した予約時間帯は記憶しています。
- ・即湯運転中に即湯予約を解除した場合、P43「即湯運転をやめたいとき」の方法で即湯運転を停止しない限り、即湯運転は終了しません。

予約時刻の変更

上記「即湯予約を解除したいとき」の手順により解除してから、もう一度設定なおしてください。

●すでに予約している時間帯を取り消すとき

2~3の手順で [即湯予約] を選択し、アップダウンスイッチを押して▲を取り消したい時間帯の目盛りまで移動し、[消す] を選択すると、その時間帯(1時間ごと)の予約を取り消します。

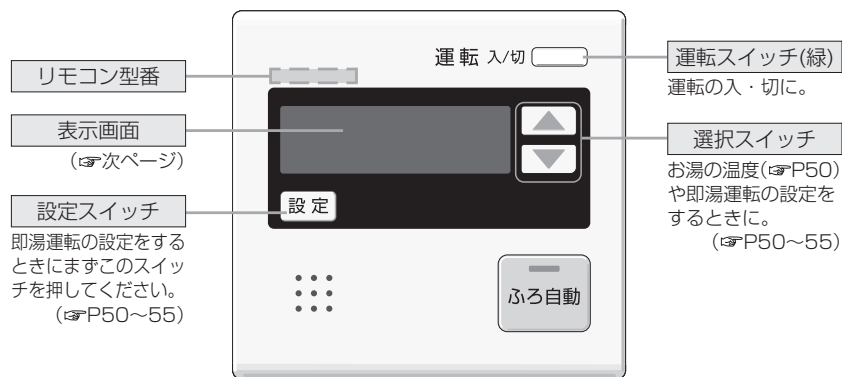


各部のなまえとはたらき(リモコン)

台所リモコン

台所リモコン138-N307型で説明します

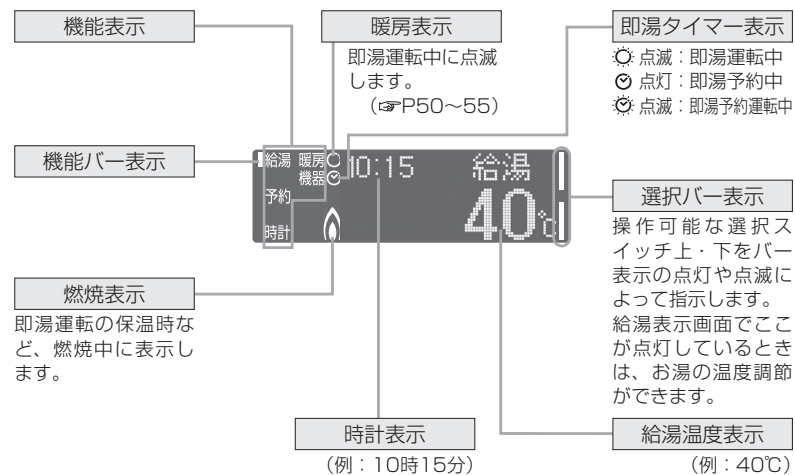
ここでは、即湯・即湯予約に関するスイッチのみ説明しています。



表示画面

下記の表示画面は説明用です。

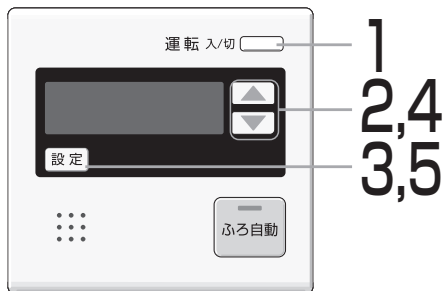
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



使いかた

即湯運転する (常時即湯運転をしたいとき)

【例：台所リモコン138-N307型】



<お願い>

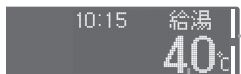
即湯運転を「入」に設定してもすぐにお湯は出ません。給湯配管内のお湯が充分にあたたまるまで約1時間かかります。
すぐにお湯を使いたい場合は、あらかじめ即湯運転する時間帯を予約してください。
(P52~55)

<運転スイッチ「切」のとき> <一度設定すると記憶します>

1 運転スイッチを押して「入」にする



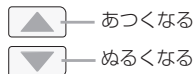
点灯確認



現在の給湯温度 (例：40℃)

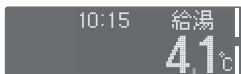
※運転スイッチ「入」の場合は、表示画面の選択バー表示が点灯していることを確認してください。
点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。
(このとき、運転が停止しますのでご注意ください)

2 必要に応じて温度を調節する (変更しないときは) 温度を確認する



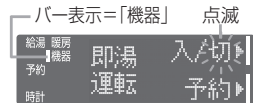
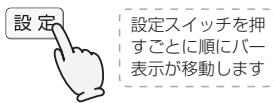
あつくなる

ぬるくなる

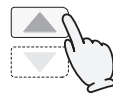


変更した給湯温度

3 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にし、即湯運転画面にする



4 選択スイッチ(上)を押して「入」にする



スイッチを押すことに入↔切に切り替わります



5 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



※設定スイッチを押し忘れた場合でも、しばらく放置すると確定し、給湯表示画面に戻ります。

即湯運転をやめたいとき

①設定スイッチを押して、バー表示を「機器」の位置にする。



②選択スイッチ(上)を押して「切」にする。



③設定スイッチを押して、給湯表示画面に戻す。



警告



やけど予防のために

高温注意

* 給湯温度を60℃などの高温の設定温度から下げた場合は、しばらく熱いお湯が出ますので、やけどに注意してください。(配管内のお湯が熱いため)
* 即湯運転中に(優先)を切り替えた場合、切り替えたほうの温度で即湯運転を続けるため、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用してください。

※お湯の温度は、必ずしも設定温度になりません。(設定温度は目安です)

※お湯を使うとき、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>-1

【例：台所リモコン138-N307型】



あらかじめ即湯運転する時間帯を設定しておく、即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。

即湯予約を解除するまで(☞P55)、毎日同じ時間帯に即湯運転の開始・停止を自動的におこないます。

<お願い>

即湯運転を開始しても、給湯配管内のお湯が充分にあたまるまでに約1時間かかるため、開始時刻は、「お湯を使いたい時刻の1時間前」に設定してください。

例：朝7時～夜9時の間、お湯を使いたい場合(朝6時から即湯運転「入」に設定します)

<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

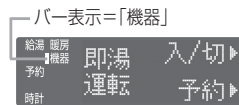
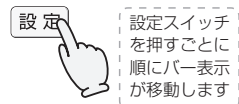
1. 給湯温度を確認する。
2. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

1 運転スイッチを「入」にする

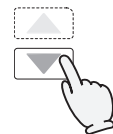


※運転スイッチ「入」の場合は、表示画面の選択バー表示が点灯していることを確認してください。点灯していないときは、運転スイッチを押していったん「切」にし、再度押して「入」にしてください。(このとき、運転が停止しますのでご注意ください)

2 設定スイッチを押してバー表示を「機器」の位置にし、即湯運転画面にする



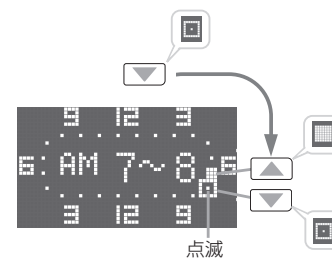
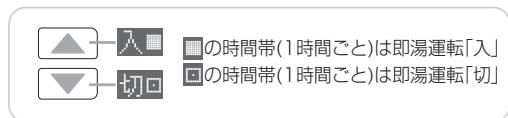
3 選択スイッチ(下)を押して「予約」を選択する



予約時間帯の入力画面になります。



4 選択スイッチ(下=切)を押し進めて行きAM6~7で選択スイッチ(上=入)を押す

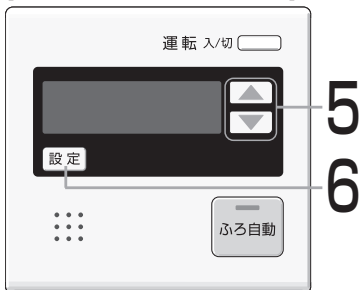


AM 6~7時が即湯運転「入」の設定になります。

(次ページへ)

即湯運転する時間帯を予約する<即湯予約>-2

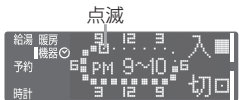
【例：台所リモコン138-N307型】



(前ページより)

5 続けてPM8～9まで選択スイッチ(上=入)を押す

AM6時～PM9時まで即湯運転が「入」の設定になります。



6 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す



※設定スイッチを押し忘れた場合でも、しばらく放置すると確定し、給湯表示画面に戻ります。

現在時刻を合わせていない場合は、次に時計合わせの表示に変わります。(時計合わせの方法は給湯暖房機の取扱説明書をご確認ください)

即湯運転開始

開始時刻になると即湯運転を開始します。(運転スイッチが「切」の場合でも、自動的に「入」になります)



即湯運転終了

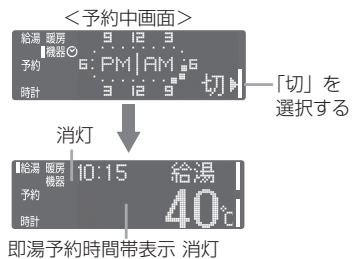
終了時刻になると自動的に即湯運転を終了します。



・運転スイッチは自動的に「切」にはなりません。

即湯予約を解除したいとき

- ①操作手順1～2をおこない、予約中画面にする。
- ②選択スイッチ(下)を押して「切」を選択する。



※予約を解除しても、設定した予約時刻は記憶しています。
※即湯運転中に即湯予約を「切」にした場合、P51「即湯運転をやめたいとき」の方法で即湯運転を「切」にしない限り、即湯運転は終了しません。

予約時刻の確認

操作手順1～3をおこない、確認後、設定スイッチを押す。

予約時刻の変更

上記「即湯予約を解除したいとき」の手順により解除してから、もう一度設定しなおしてください。

凍結による破損を予防する

お願い

- * 暖かい地域でも、即湯ユニット内や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- * 凍結により即湯ユニットが破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

即湯ユニット内は凍結予防ヒーターとポンプ循環(給湯回路のみ)で自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。
(運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します)

- * 凍結予防ヒーターでは、給湯行き・戻り配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または、電気ヒーターを巻くなどの処置をしてください。(わからないときは、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください)

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

注意

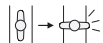


即湯運転直後やお湯の使用後は、即湯ユニット内のお湯が高温になっていますので、即湯ユニットが冷えてからおこ高温注意 ご注意ください。
やけど予防のため。

・即湯ユニットの下に容器などを置いて排水を受けてください。

※給湯暖房機の水抜き操作をおこなう前に、以下の方法で即湯ユニットの水抜きをおこなってください。

1 給湯暖房機の給水元栓を閉める。
(給水元栓の位置
☞ 機器本体編の取扱説明書「各部のなまえとはたらき」)



2 すべての給湯栓を全開にする。 

3 即湯ユニットの給湯水抜き栓①～③を左に回して開ける。(右ページイラスト参照)

4 給湯暖房機のフロントカバー下部にあるラベルで、不凍液が入っているか確認する。

- * 「不凍液が入っています」というラベルがある場合……以下の5の操作は必要ありません。6の操作からおこなってください。
- * 上記以外の場合(不凍液が入っていない場合)……以下の5の操作で水抜きをおこなってください。

5 即湯ユニットの暖房水抜き栓④～⑥を左に回して開ける。(右ページイラスト参照)

- 1) リモコンの運転スイッチを「入」にする。
- 2) 下表のページの手順で即湯運転をする。

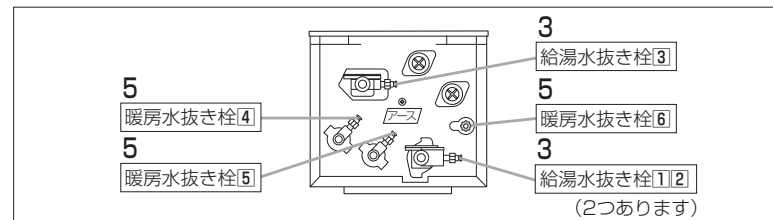
リモコン型番	手順
238-N402/N403/N404/N405/N406/N407/N408/N409型 238-N412/N413/N414/N415/N416/N417/N418/N419型 238-N422/N423/N424/N425/N426/N427/N428/N429型	P6～7
238-N304/N305/N346/N347/N348/N349型	P14～15
138-N380/N381/N382/N383/N384/N385型 138-N395/N396/N397/N398型	P22～23
138-N430/N431/N432/N433/N450/N451/N452/N453型	P29～30
138-N408/N409/N410/N411/N420/N421/N422/N423型	P34～35
138-N310/N311型	P42～43
138-3054/3055/3056型 138-3060/3061/3062/3063/3064型 138-3091/3092/3093/3094型 138-N305/N306/N307/N308/N315/N316型	P50～51

- 3) リモコンに故障表示《638》を表示するまで1分程度待ち、表示したら、5分程度そのままにする。(この場合《638》は異常ではありません)

7 完全に排水されたことを確認したら、即湯ユニットのすべての水抜き栓(6か所)、すべての給湯栓を閉める。

8 リモコンの運転スイッチを押して「切」にし、電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらない**

<下から見た図>



再使用のとき

- * 即湯ユニットのすべての水抜き栓が閉まっていることを確認してから、給湯暖房機の取扱説明書「凍結による破損を予防する」または「長期間使用しないとき(水抜きのみ)」の「再使用のとき」の操作をおこなってください。
- * 即湯ユニット本体や配管から水漏れがないかよく確認し、給湯栓を開いて、充分お湯を出してから使用してください。
- * 配管内に空気が残っていると、リモコンに故障表示《638》を表示することがあります。その場合は、給湯栓より充分お湯を出した後、いったん運転スイッチを押して「切」にし、再度押して「入」にしてから使用してください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

連絡していただきたい内容

型番 138-N700型
異常の状況 症状など、できるだけ詳しく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日
給湯暖房機の型番 給湯暖房機の銘板をご覧ください



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。

保証書に記載されている保証期間・保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。不明のときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

主な仕様

型番	138-N700型
型式名	QU-3
加熱能力(kW) (暖房流量: 2L/分 給湯流量: 4L/分)	給湯戻り度 5℃ 3.78, 2.17号
	37℃ 2.33, 1.34号
	60℃ 1.28, 0.73号
熱源(L/分)	暖房用温水 2 (80℃)
加熱方式	暖房温水を利用した 間接熱交換器による加熱
給湯温度制御方式	ポンプ、熱動弁ON/OFF制御
設置方式	屋外壁掛・屋内壁掛設置形
使用水圧(kPa)	100~750(1.0~7.5kgf/cm ²)

外形寸法(mm)	高さ344×幅252×奥行220
質量(本体)(kg)	8.2
接続口径	給湯行き R1/2
	給湯戻り R1/2
	温水入り φ7樹脂管用差込ジョイント
	温水出 φ7樹脂管用差込ジョイント
電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力 (50/60Hz)(W)	40/45 凍結予防ヒーター 70
安全装置	過電流防止装置、漏電安全装置